

## ⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭59—136175

⑤ Int. Cl.<sup>3</sup> 識別記号 庁内整理番号  
 H 01 R 13/639 7037—5 E  
 G 09 F 3/03 7170—5 C  
 H 04 R 1/02 1 0 6 6507—5 D

④ 公開 昭和59年(1984)9月11日

審査請求 未請求

(全 3 頁)

⑭ マイクコネクタ封印用カバー

相模原市相模大野7丁目35番1  
号日本マランツ株式会社内

⑮ 実 願 昭58—28128

⑯ 出 願 人 日本マランツ株式会社

⑰ 出 願 昭58(1983)3月1日

相模原市相模大野7丁目35番1  
号

⑱ 考 案 者 後藤四郎

## ⑲ 実用新案登録請求の範囲

- (1) 通信機等の本体に着脱自在に装着されるマイクコネクタ外周端部を覆う環状筒体を設け、該環状筒体をその筒体の開口方向に2分割し、その分割された2つの半環状部材の互いに対応する2対の切断面のうち少なくとも一方側を嵌脱可能に形成し、かつ、前記環状筒体内周面側に前記通信機本体と前記マイクコネクタとを一体化するロック機構を設け、更に前記環状筒体の分割部外周面側を封印せしめてなる、マイクコネクタ封印用カバー。
- (2) 実用新案登録請求の範囲第1項記載の環状筒体を樹脂製部材にて形成し、その環状筒体の分割端部には夫々嵌脱可能に係止部と爪とを対向して形成せしめてなる、マイクコネクタ封印用カバー。
- (3) 実用新案登録請求の範囲第1項記載の環状筒体の2分割された一方の対向端部を拡開可能に枢着し、他方の対向端部を嵌脱可能に形成せしめてなる、マイクコネクタ封印用カバー。
- (4) 実用新案登録請求の範囲第1項記載の環状筒体を金属製部材にて形成し、その環状筒体の分割端部を取付け部材を用いて嵌脱可能に形成せ

しめてなる、マイクコネクタ封印用カバー。

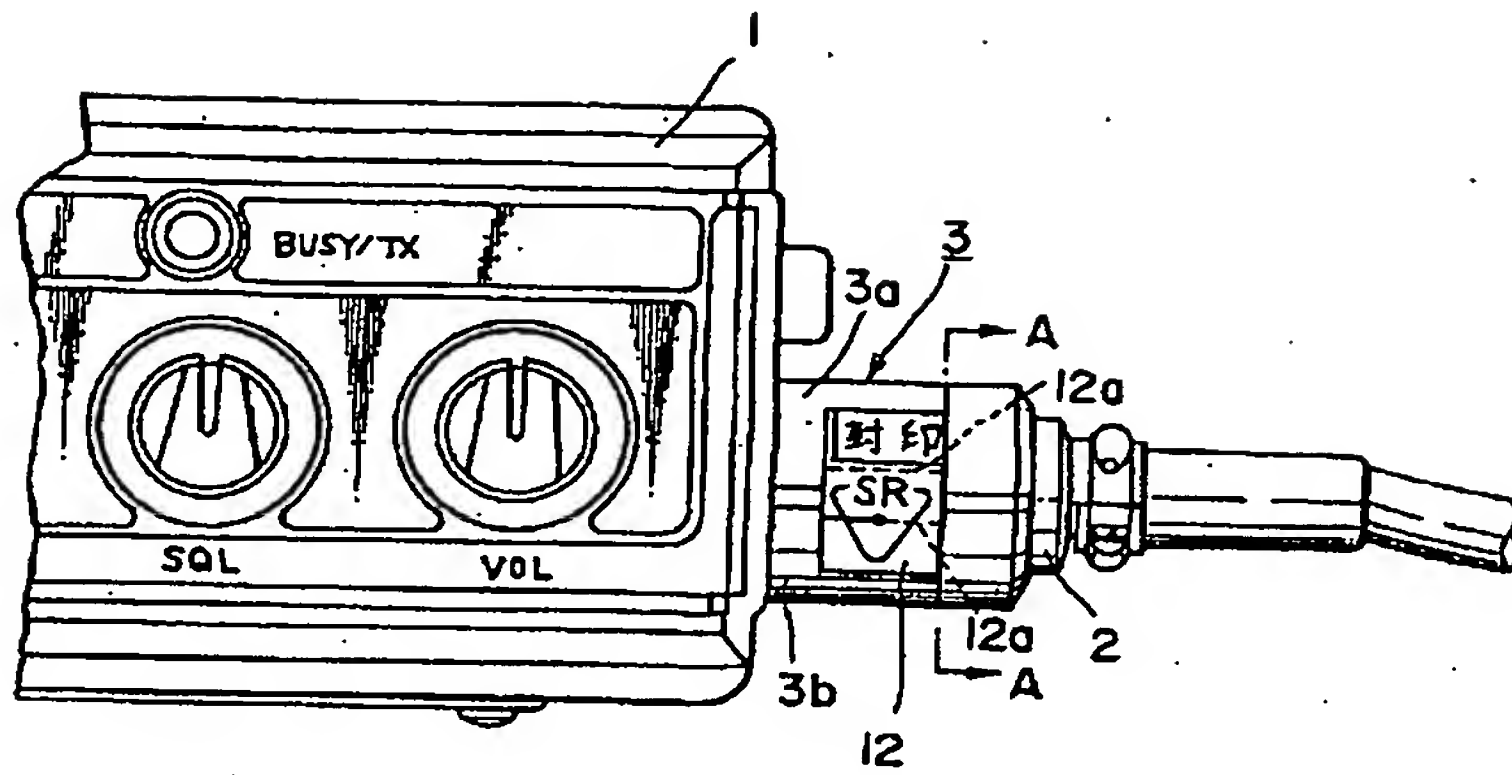
- (5) 実用新案登録請求の範囲第1項記載の環状筒体の分割部をワイヤー等の線材を用いて封印せしめてなる、マイクコネクタ封印用カバー。

## 図面の簡単な説明

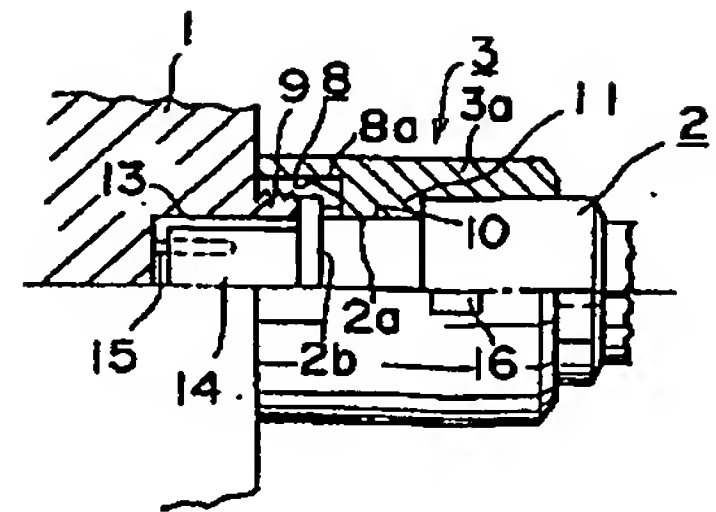
第1図乃至第4図は本考案マイクロコネクタ封印用カバーの第1実施例を示すもので、第1図はマイクロコネクタ封印用カバーの通信機本体への装着状態を示す正面図、第2図は第1図の部分図で一部断面正面図、第3図イは第1図のA-A線に沿うキャップの断面図、第3図ロは第3図イの変形例を示すキャップの断面図、第4図は本考案マイクコネクタ封印用カバーの装着過程を示す斜視図、第5図は本考案マイクコネクタ封印用カバーの第2実施例を示す斜視図、第6図は本考案マイクコネクタ封印用カバーの第3実施例を示す斜視図、第7図は本考案マイクコネクタ封印用カバーの第4実施例を示す斜視図である。

1…通信機本体、2…マイクコネクタ、3…キャップ(環状筒体)、3a…半環状部材、3b…半環状部材、2a…(螺環取付用凹部)、2b…(フランジ部)、11…(凸部)…ロック機構。

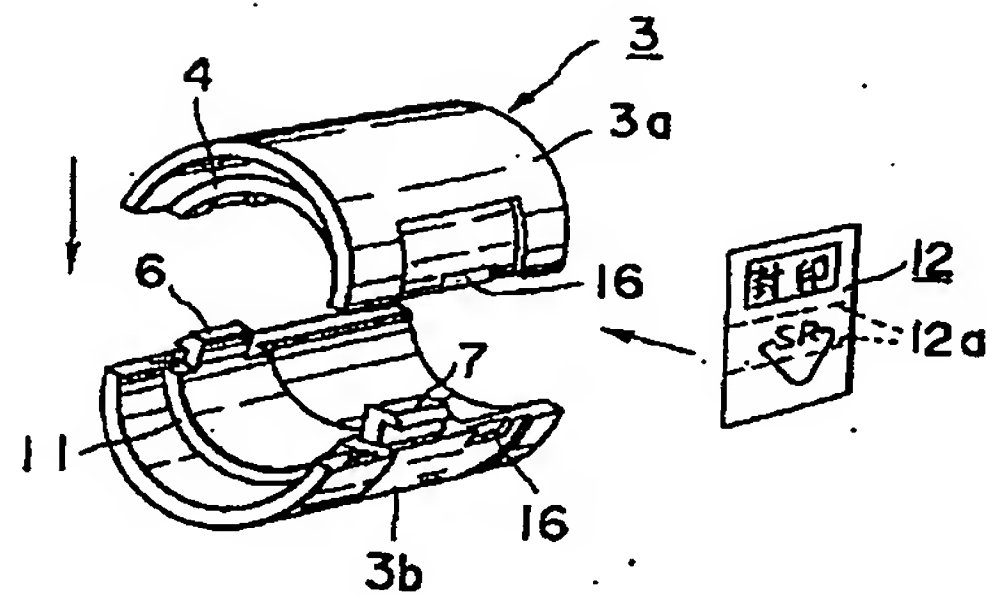
第1図



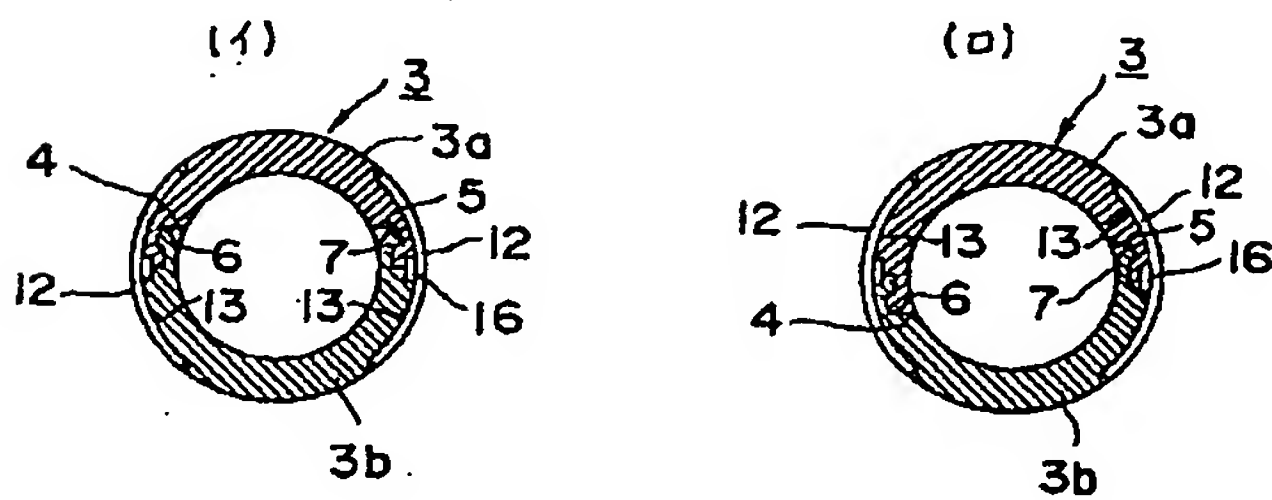
第2図



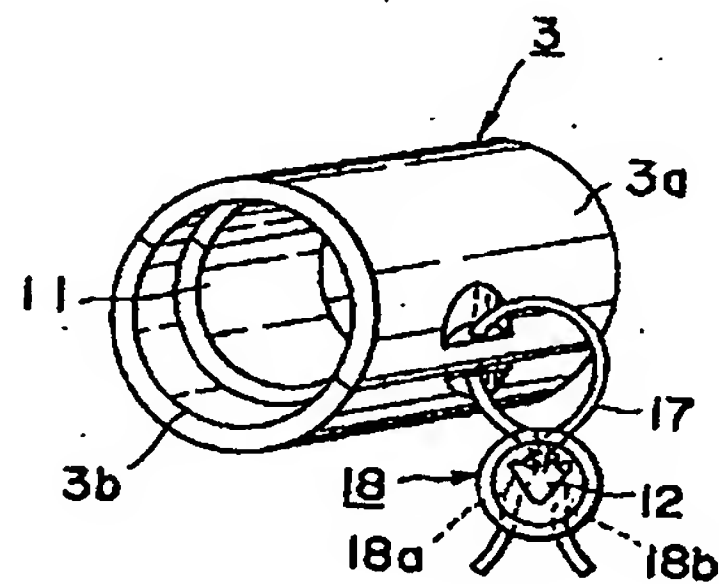
第4図



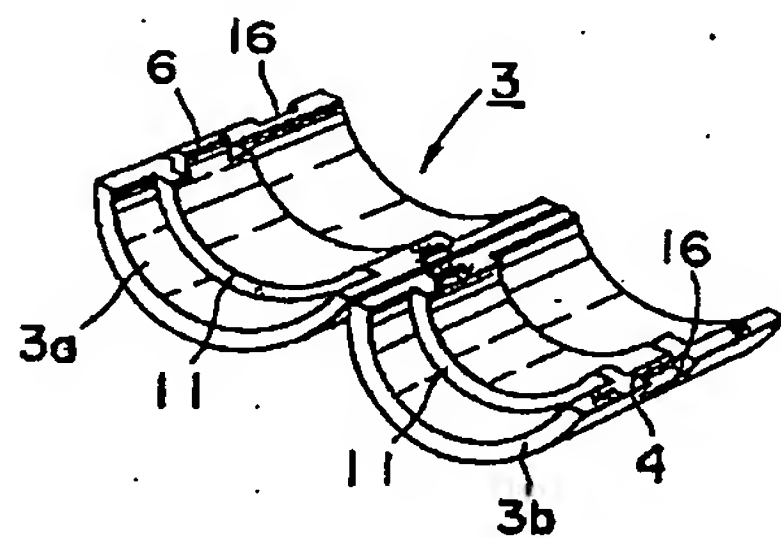
第3図



第6図



第5図



第7図

